

第2号議案

2024年度事業計画

近年、地力低下や肥料価格の高騰等を背景として、土壌診断に基づく土づくりの推進がますます重要となっている。

農林水産省の「みどりの食料システム戦略」では、化学肥料使用量の低減、堆肥の活用、有機農業の拡大などを目指しており、当全国協議会としては、このような状況を踏まえて、土壌医の会の活動の一層の推進を図ることによって、土づくりの普及に取り組んでいく。

活動方針

1. 全体活動（共通の課題への対応）

(1) 会員の研鑽、交流の促進、土壌医の会の組織化

①土壌医等資格登録者数の増加と登録更新のための継続研鑽機会の拡大

日本土壌協会ではウェブサイトで提示する演習問題などウェブを活用した継続研鑽（CPD 単位取得）の機会を拡大しており、その一層の活用を呼びかける。

また地域土壌医の会等の主催する研修会について、全国協議会を通じて他の土壌医の会へ広く案内し、研鑽機会の拡大を図る。

②「土壌医の会通信」の発行による会員間の情報交流の促進

会員間の情報交流促進をねらいとして「土壌医の会通信」を発行している（2023年度までに15号発行）。2024年度も引き続き、土壌医等資格登録者や土壌医の会の活動内容やトピックの紹介等により、会員間の情報交流の促進を図る。

③地域土壌医の会の組織化を通じた研鑽や交流の促進

土壌医の会の組織化については、特に東北、北関東、東海、北陸、中国地域などにおいて組織化が遅れている地域を中心に、日本土壌協会と連携して組織化の核となる方を見出し、その方を中心に組織化が図れるよう支援していく。

(2) 土壌医検定試験のPR等を通じた土づくり普及活動の推進

地域土壌医の会への助成事業を活用し、①土壌医検定試験のPR活動の推進、②正会員以外を対象とした研修会の活用、③農業高校への出前研修等を行い、土壌医検定試験のPR活動を通じた土づくり普及活動を行う。

(3) 土づくり活動の社会的評価の向上

① 優良土づくり推進活動の表彰事業への対応

優良土づくり推進活動表彰事業は、近年、マスコミからの注目が高くなり、土づくり活動の社会的評価の向上のために極めて重要と考えられる。一方で、農

林水産省の表彰となるためには、30件以上の応募件数が必要である。2024年度も、地域土壤医の会や事業体土壤医の会メンバーに対し、日頃の活動成果を取りまとめ、表彰事業に応募するよう呼びかける。

② マスコミ等へのPR

様々な機会を通じ、土壤医の活動をマスコミにPRするとともに、マスコミから取材依頼等があった場合は積極的に対応する。また、マスコミに掲載された情報については、全国協議会を通じ会員間で共有を図る。

③ 土壤医の会員を対象とした派遣可能講師リストの作成

会員の活躍の場を広げ、併せて土壤医の認知度向上を図るために、地域土壤医の会や事業体土壤医の会の意向を踏まえつつ、資格者ごとに得意とする指導分野、往訪可能地域、その他条件を記載した土壤医の会の会員リストを作成し、全国協議会ホームページにて公開する。

④ 全国協議会ホームページのリニューアル

しばらく更新していなかった全国協議会のホームページをリニューアルし、ページ来訪者の会への印象の向上を図る。（実施済み）

2. 各部会の活動

(1) 研鑽部会

土壤医の会の会員拡大、研鑽機会の増加、交流活動の促進、優良土づくり活動の表彰の推進等を図っていく。

① 第8回全国交流大会の開催

正会員、資格登録者や土壤医の会の優れた活動成果の表彰、表彰者からの活動成果の発表を主な内容とする全国交流大会を開催する（11月15日（金）予定）。

② 研修会の開催、講演会に対する後援

(ア) 研修会の共催

日本土壤協会と共催で、主に資格登録者や合格者を対象とした「レベルアップ研修会」を開催する（2024年秋実施予定）。なお、内容については、昨年度の研修会のアンケート結果も参考とする。

(イ) 講演会等に対する後援

土づくり推進フォーラムの講演会、シンポジウムに対して後援を行う。

・土づくり推進フォーラム講演会

日時：2024年8月8日（木）

場所：千代田区日比谷図書文化館

テーマ：「土壤の可給態窒素レベルに応じた施肥」

・土づくり推進フォーラムシンポジウム

12月ごろ実施予定（日時、場所、テーマ未定）

(2) 調査研究部会

① 地域重要問題研究会の開催

地域土壤医の会と共同で、地域において重要な課題をテーマとして最近の研究成果や現地での取組み成果等を発表し、意見交換を行う。

地域土壤医の会：茨城県土壤医の会

日時：日時 10月3日（木）

場所；茨城県土浦市

テーマ：検討中

方式：現地参加及び web 参加

②土壤診断の推進

農林水産省の補助事業である「AI による土壤診断技術の開発」事業に対して、調査研究部会を中心として対応する。

(3)土づくり普及部会

農業高校等への出前研修、会員以外の方々への土づくり普及や土壤医検定試験・資格登録制度の認知度向上等のための活動を推進する。

また、地域土壤医の会が地域の実態に即してより活動しやすくなるように、助成対象事業の採択要件の運用改善等を図る。

3. 定例会議等の開催

(1)第1回幹事会（本日）

- ・日 時：2024年7月18日（木）14：00～16：30
- ・会 場：千代田区神保町出張所・神保町区民館
- ・議 事：1. 2022年度事業報告（案）及び収支決算（案）について
2. 2023年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
3. 報告事項、その他

(2)第2回幹事会

- ・日 時：2024年11月15日（金）13:00～14:00（予定）
- ・会 場：全国家電会館（予定）
- ・議 題：1. 2024年度事業の経過報告について
2. 第8回全国交流大会の開催について
3. その他

(3)第8回全国交流大会

- ・日 時：2024年11月15日（金）14:30～17:00（予定）
- ・会 場：全国家電会館 5階講堂（東京都文京区湯島3丁目6番1号）
- ・プログラム：
 - 1. 優良土づくり推進活動の表彰
 - （1）審査講評
 - （2）表彰状と副賞授与
 - 2. 表彰者からの活動成果の発表
 - 3. その他

2024 年度「土壌医の会全国協議会」収支予算
(2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日)

科目	2024 年度 予算額(1)	2023 年度 予算額(2)	差引増減 (1)-(2)	備考
1. 収入の部				
(1) 会費	5,392,000	4,866,000	526,000	2023 年度末の会員数を基に算定 5 年度未入金 34,000 円含む
(2) 事業収入	0	0	0	
(3) 雑収入	30	5	25	
(4) 前年度繰越金	3,592,211	3,029,955	562,256	
収入合計 ①	8,984,241	7,895,960	1,088,281	
2. 支出の部				
(1) 事業費	1,250,000	1,400,000	-150,000	
調査研究会費	200,000	200,000	0	
全国交流大会費	250,000	400,000	-150,000	
研修会開催補助	50,000	50,000	0	
地域土壌医の会補助	750,000	750,000	0	
(2) 幹事会費	400,000	180,000	220,000	
(3) 刊行物購読費	1,868,000	1,692,000	176,000	「作物生産と土づくり」購入配布
(4) 広報費	100,000	0	100,000	「土壌医の会通信」編集発行費用
(5) 協会負担金	2,300,000	1,800,000	500,000	事務経費増 200,000 円、前年度未払金 300,000 円計上
(6) 雑費	60,000	10,000	50,000	zoom アカウント維持費用予算化
(7) 予備費	3,006,241	2,813,960	192,281	
支出合計 ②	8,984,241	7,895,960	1,088,281	